

第44回学会大会のお知らせ

本年度も、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（以下、社研と略す。）を会場とし、対面を基本としながらも、オンラインを併用したハイフレックス方式で実施する予定です。感染症拡大防止に配慮して実施しますので、会場参加者の皆様にはご協力をいただくこともあろうかと存じますが、よろしくお願いいたします。

○ 大会趣旨

学会及び学会員の研究の成果を公表するとともに、各地域の生涯学習活動とその支援にかかわる諸課題について学会員、生涯学習の実践者、行政職員がともに考え解決の糸口を探る。特に、研究者と実践者、行政職員等が、実践事例を共有し、課題解決をめぐる対話を通して実践と研究の質的向上を図る。

1 大会期日 2023年11月25日（土）、26日（日）

2 会場〔主会場〕国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43 TEL 03-3823-0241

〔情報交換会〕未定

3 大会日程 ※ 大会の詳細については、大会前にお送りするプログラムで必ずご確認ください。

大会1日目 11月25日（土）	大会2日目 11月26日（日）
9:30～10:15 評議員会	9:00～ 受付
10:25～11:00 全国理事会	9:30～10:00 総会
10:30～ 受付	10:15～11:45 研究発表（生涯学習実践事例研究部会）
11:15～12:15 研究発表（展示発表部会）	11:45～13:00 休憩・移動
12:15～13:15 休憩・移動	13:00～15:00 研究発表（自由研究部会）
13:15～13:25 開会式	15:10～15:20 会長賞表彰式
13:30～15:30 生涯学習政策研究フォーラム	15:20～15:30 閉会式
15:45～17:25 研究発表（自由研究部会）	
18:00～20:00 情報交換会（予定）	

※ プログラムについては、発表の申し込み状況等により、一部変更になる場合があります。

4 大会概要

（1）第44回学会大会 生涯学習政策研究フォーラム

テーマ：ウェルビーイングの実現に向けて生涯学習・社会教育が果たす役割（仮題）

令和5年3月の「次期教育振興基本計画について(答申)」では、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じ、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが示されました。さらに、我が国では、人とのつながりや関係性に基づく要素がウェルビーイングにとって重要な意味をもつことから、ウェルビーイングの獲得的要素と協調的要素を調和的・一体的に育む日本発のウェルビーイングの実現を目指すことが求められています。

こうしたウェルビーイングの実現のためには、学校教育、社会教育、家庭教育など多様な学習機会を通じて、人生の各場面で生じる課題に対応した学習機会や社会的な課題に関する学習機会を保障し、個人の積極性・自発性・意思に基づく学習活動が持続的に行われる生涯学習社会をより一層進めていくことが大切だと考えます。そこで、本フォーラムでは、教育を通じて日本発のウェルビーイングの実現を図るため、今後、生涯学習・社会教育が果たすべき役割や取組の方向性について議論したいと思います。

（2）情報交換会

11月25日土曜日（大会第1日目）の夕刻から感染症拡大防止に配慮しつつ、情報交換会を開催する予定です。会場の都合上、当日会場のみでの参加となります。詳細は、学会ホームページ等でお知らせします。

5 研究発表について

「自由研究部会」及び「生涯学習実践事例研究部会」での研究発表を行います。優れた研究発表をした会員

には「生涯学習研究e事典」への執筆をお願いする予定です。また、『日本生涯教育学会論集』に投稿する場合は、原則として前年の大会で発表することになっております。

(1) 研究発表の種類

ア 口頭発表部会

① 自由研究部会 11月25(土)及び26日(日)の午後 ※オンラインによる発表可

※ 発表時間は、発表申し込み状況により短くなる場合があります。また、申込件数や発表内容に応じて同じ時間帯に複数の部会を設定いたします。

② 生涯学習実践事例研究部会 11月26日(日)午前

発表各地の実践事例を報告し合い、相互交流をはかる部会です。行政、民間学習機関、団体等、さまざまなところで行われている実践の当事者による発表を中心に実践研究を深めます。優れた発表には「日本生涯教育学会会長賞」が授与されます。なお、生涯学習実践事例研究部会では、常任理事会および大会実行委員会による推薦により非会員にも発表を認める場合があります。また、発表内容等を考慮して自由研究部会での発表をお願いする場合があります。

イ 展示発表部会

研究成果を端的にまとめた大判ポスターを掲示するだけでなく、発表者によるプレゼンテーションも行います。口頭発表部会よりも発表時間が短いため一度に多くの発表を聞けることや、発表者と聴衆との距離が近いため気軽なディスカッションができる等の特徴があります。資料の搬入・搬出は、発表者の責任で行っていただきます。なお、生涯学習実践事例研究部会と同様、展示発表においても常任理事会および大会実行委員会による推薦により非会員にも発表を認める場合があります。

(2) 研究発表時間について

(個人発表) 自由研究部会発表20分、質疑5分、移動・休憩5分

生涯学習実践事例研究部会:発表15分、質疑10分、移動・休憩5分

(共同発表) 自由研究部会・生涯学習実践事例研究部会共通 発表15分×口頭発表者数 質疑5分

※ 合計60分以内、口頭発表者が1名の場合は個人発表と同じ。

(展示発表) 下記の時間に発表者との意見交換の時間(8分)を設けます。

11月25日(土) 11時15分～12時15分

(3) 申し込み方法

研究発表を希望する会員は、学会ホームページより「研究発表申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、電子メールに申込書を添付してentry@j-lifelong.org宛に送信してください。送信後、平日2日間で受信確認メールが届かない場合は、不達の可能性がありますので、再送信をお願いします。

なお、「研究発表申込書」は学会ホームページに掲載しています。

(4) 申込み締切

2023年8月31日(木) ※ 締切日までに受信した申込書のみを受理します。締切日を厳守してください。

(5) 発表要旨

研究発表を申し込まれた会員には、追って発表要旨のご執筆をお願いいたします。執筆依頼時にお知らせする締切日までに発表要旨をご提出ください。提出された原稿については、『発表要旨集録』の版下としてそのまま印刷し大会時に配布するとともに、『発表要旨集録』(電子ファイル版)として配信いたします。締切日までに発表要旨が到着しない場合は、発表の資格を失いますのでご注意ください。

(6) その他

- 研究発表申込者には、個別に大会実行委員会事務局から詳細についてご案内いたします。
- その他お問合せは、confe@j-lifelong.org (第44回大会実行委員長 石津)までお願いします。